

色に囚われない ファッション

ー ファッション×色覚異常

ーCONCEPTー

ヒトの色覚が正常色覚ではないことを示す色覚異常。

日本では男性の20人に1人、女性の500人に1人、国内の300万人以上が該当するといえます。

『ファッションを楽しみたくても楽しめない人がいるという現状を変えたい。』

『全ての人が自分を着飾って、全ての人が自分を楽しめる毎日をごせるようにしたい。』

そんな願いを込めて、この店舗を考えました。

Coexistence of color blindness and freedom



デザイン

テク



ファッション

一色覚異常者が安心してファッションを楽しめる店舗に

私の考える次世代の店舗では、「洋服を買うときとんでもない色を選んだことがある。」「ピンクのスニーカーを水色だと思った。」と言ったような、色覚異常者が服を買うときに抱える不安や悩みをなくし、色覚異常者が安心してファッションを楽しめるように様々なアイデアを取り入れています。

① 店内は白を基調としたシンプルな作りに

色覚異常者の方の目の負担を減らすために、店内は白を基調としたシンプルなデザインになっています。

また、服の色を判断しやすくしたり、服の個性が目立つ効果もあります。

④ できなかったことを可能にする最新テクノロジー

色覚異常者の抱える悩みのひとつとして、コーディネートが周りからどう見えているのかわからないという点があります。そこで、試着室に色覚異常者が正常色覚で見えるような特殊加工の鏡を設置し、実際にその服を着ている自分が周りからどう見えるのかがわかるようになっています。

また、服のタグにあるQRコードを読み取ることで、その服の本来の色や、その服に合う服が表示されるという便利な機能も考えています。

② 素材とデザイン性にこだわった品揃え

色覚異常者は正確な色の判断が難しいため、色に個性のある服ではファッションを楽しみきれないのではないかと考えました。そこで、この店舗では服の素材や質感、デザインに個性のある服を揃えることによって、ワンランク上のファッションを楽しむことができるとしています。

③トレンドをおさえた自分に合った服を

人にはパーソナルカラーがあるように、似合う色と似合わない色があります。色覚異常者の方が、自分に似合った服を楽しめるように、当店専用のアプリを使ってパーソナルカラー診断、そしてその診断に基づきスタイリストの方やモデルの方にコーディネートを考えてもらおうと考えています。そのコーディネートをまとめて買うことも可能ですし、その中から気になった服を買うことも可能です。自分にも似合う、トレンドを押さえたファッションを楽しむことができるはずです。

素材

シンプル

コーディネート

個性

— TARGET —

色覚異常者 × 健全者

今回、私が考えた店舗の一番のターゲットは色覚異常の症状を持った方々ですが、ひとつの「衣料品店」としても営業が成り立つような店舗にしたいと考えています。そのためにはやはり、一般の方も魅力に感じるような店でなくてはなりません。

- ① 白を基調としたシンプルな店舗
→ 一般の人でも入りやすい
- ② 素材、質感、デザインに焦点を
当てた新しいカタチの服
→ 今までとは違ったファッション
を楽しむことができる
- ③ 自分に合う、トレンドをおさえ
たコーディネートを提供
→ 全ての人にファッションを楽しん
でもらう

このように、色覚異常の方が安心してファッションを楽しむために考えたアイデアは、一般の方にも魅力に感じるものになっているはずです。

コンセプトでも述べたように、私は「全ての人に自分を着飾って、全ての人に自分を楽しんでほしい」と考えています。新しい何かに出会える瞬間というものはとてもワクワクするものです。私の考える次世代の店舗では、沢山の人がその瞬間に立ち会うことができると思います。あなたも、新しい自分に出会ってみませんか？